

# HULFT

CASE STUDY

HULFT

株式会社クマヒラ

**Kumahira**

**国際会議の成功に物理セキュリティで貢献  
入退場を制御するセキュリティゲートとつながる  
上位システムとのセキュアなデータ連携をHULFTで実現**



## 株式会社クマヒラ

# 国際会議の成功に物理セキュリティで貢献 入退場を制御するセキュリティゲートとつながる 上位システムとのセキュアなデータ連携をHULFTで実現

人々の財産や情報を守る多様なセキュリティ製品を提供するトータルセキュリティ企業のクマヒラ。2016年に日本で開催された国際的な会議では会場の入退場を担うセキュリティゲートに同社の製品が採用された。ゲートでの認証には来場者情報を管理する上位システムとのデータ連携が必要になる。その基盤に採用したのがHULFTである。セキュアかつ確実なデータ連携により、スムーズな入退場を実現し、国際会議の成功に貢献した。物理セキュリティと情報セキュリティをつなぐ基盤として、同社がHULFTに寄せる期待は大きい。



株式会社クマヒラ  
企画本部  
トータルサポート事業部  
セキュリティ企画室 室長

木下 友和氏



株式会社クマヒラ  
企画本部  
トータルサポート事業部  
セキュリティ企画室

新井 柊一郎氏

強力な防盜・耐火性能が求められる金融機関向けの金庫メーカーとして知られるクマヒラ。その強みを活かし、近年は豊富な機能であらゆる業態にも対応するパッケージ型の入退室管理システムやセキュリティゲート、録画監視カメラシステムなど幅広いセキュリティソリューションを提供し、トータルセキュリティ企業として成長を続ける。「お客様固有のニーズに対応するため、全国的な販売・サービス網を構築し、提案型営業を強化しています。その一環として、セキュリティを含めたオフィスデザインをトータルでサポートする事業にも力を入れています」と同社の木下友和氏は話す。

## ゲートと上位システム間の データ連携をHULFTで実現

人々の財産や安全、情報を物理セキュリティの面から守る——。同社の高品質な製品は市場から高く評価され、厳格なセキュリティが求められる国際会議の場にも採用された。2016年5月に三重県で開催された国際会議へのセキュリティゲートの提供がそれである。「当社の役割は会場の出入り口の物理セキュリティ。来場者情報の登録・管理を担うSIベンダーの上位システムと連携し、ゲートを通ろうとする人のIDパ

ス情報と照合することで、会場への入退場を制御する仕組みです」と木下氏は説明する。

この上位システムとセキュリティゲート間のデータ連携基盤に採用したのが、セゾン情報システムズのファイル転送ミドルウェア「HULFT」である。「HULFTはファイル転送ツールのデファクトスタンダード。今回のケースでは上位システムを開発・運営するSIベンダーから指定を受けました。データ連携に必要な様々な機能を実装しており、当社にとってもメリットが大きい」と木下氏は述べる。

## セキュアで確実なデータ転送が 可能になり、開発工数を削減

これまで上位システムとセキュリティゲート間のデータ連携にはFTPを使うことが多かったという。しかし、HULFTを採用することで、開発が容易になり、データ転送の品質も向上した。

今回のケースは上位システムとセキュリティゲートのシステムでプラットフォームが異なる。来場者の登録情報をやりとりする上で、文字コード変換の処理が必要だ。「FTPの場合、その処理を別途作り込まなければなりません。HULFTは転送タイプを選択するだけで、文字コード変換が可能です。別途作り込みを行う必要がなく、すべての

### User Profile

## Kumahira

### 株式会社クマヒラ

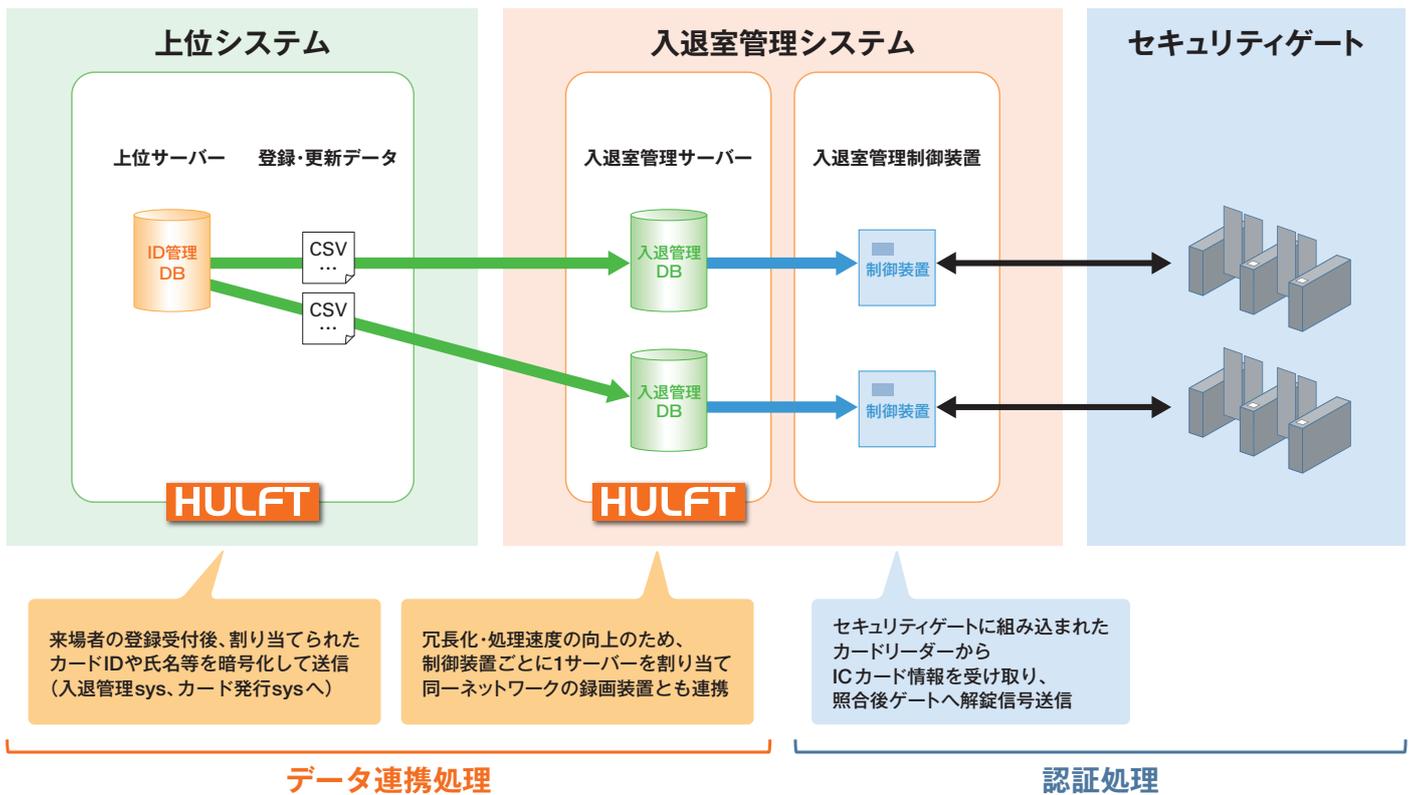
本社  
東京都中央区日本橋本町1-10-3

設立  
1898年1月

資本金  
4億5,000万円

従業員数  
669名(2016年4月1日現在)

事業内容  
金融機関向けの金庫の開発・製造、金庫設備の設計・施工のほか、入退室管理システムやセキュリティゲートなどを提供するトータルセキュリティ企業。あらゆる攻撃から人々の財産や情報を守る「安全」「安心」を追求し、市場のセキュリティニーズを先取りした最高水準の解決策を提案する。



### セキュリティゲートと上位システムとの連携イメージ

上位システムのサーバーで管理する来場者情報をゲート側の入退室管理システムに送信。

それをセキュリティゲートに組み込まれたICカードリーダーが読み取ったIDパス情報と照合することで、セキュリティゲートの開閉を制御する。

データのコード変換を漏れなく確実に  
行えるため、開発工数を大幅に削減で  
きました」と同社の新井柊一郎氏は評  
価する。データは暗号化してやりとりで  
きるため、情報漏えいやデータ改ざんも  
防止できる。

国際会議会場には複数のセキュリ  
ティゲートがあり、来場者がどのゲート  
で入退場しても正確に認証を行うこと  
が求められる。「上位システムの管  
理サーバーから認証情報を一斉配信  
する仕組みに対応する必要があった  
のです。この処理も上位システムの  
HULFTと各ゲート側のサーバーの  
HULFTをつなぐだけ。特別な作り込み  
は不要で、一斉配信の仕組みに容易  
に対応できました」と新井氏は続ける。

しかも、HULFTはデータの送達確  
認機能を実装する。転送データが正  
常に送信できたことを確認できるのは

もちろん、受信側で転送データの整合  
性チェックも行う。万が一、エラーが発  
生した場合は自動で再送信し、その履  
歴も確認可能だ。「上位システムとの  
データ連携に不備があると、セキュリ  
ティゲートの認証がうまくいかず、スム  
ズな入退場に支障をきたす恐れがあり  
ます。国際的な会議の場でそれは絶対  
に許されない。HULFTを採用したこ  
とで、この懸念を払拭し、セキュリティゲ  
ートの安定運用を実現できました」と木  
下氏は満足感を示す。

運用面でもメリットが大きい。会場へ  
の入退場は事前の登録・審査により発  
行されたIDパスで認証するのが基本だ  
が、IDパスの持ち忘れや紛失に備え、  
期間中は臨時の発行所が設置された。  
上位システムとはほぼリアルタイムで同期  
をとり、その場で登録した来場者の情報  
をもとにセキュリティゲートで認証する必

要がある。「HULFTを採用したことで、  
この処理もスムーズに進み、期間中は  
混乱なくセキュリティゲートでの認証を  
行えました」(木下氏)。

サポート対応力も高く評価している。  
「HULFTの導入にあたっては、事前  
にセットアップ方法や様々な機能の確  
認手順のレクチャーを受けました。この  
おかげで、事前準備をしっかり行うこと  
ができました。国際会議期間中は当社  
スタッフ、セゾン情報システムズの担当  
者が現地に詰めていましたが、問題は  
一切なく、無事に終幕を迎えることが  
できました」と新井氏は振り返る。

### 国際会議の実績を活かし 提案の幅を広げていく

今回の取り組みはトータルセキュリ  
ティ企業として成長を続ける同社にとっ  
て、大きな信頼と実績になる。HULFT

を活用することで、様々な上位システムとの連携が容易になるからだ。実際、セキュリティシステムは進化を続け、セキュリティゲートをはじめとする同社製品も生体認証を含む様々な情報を実装した上位システムと連携するケースが増えつつある。

またセキュリティシステムが記録する情報の価値も高まっている。「正確な認証による安全の確保だけでなく、その履歴情報や在室情報をリアルタイムに提供してほしいというお客様が増えています。ゲートの入退場記録を出退勤管理や労務管理に活用するためです。HULFTを使えば、こうしたニーズにも柔軟に対応できます」(新井氏)。

セキュリティシステムは物理セキュリティと情報セキュリティで成り立つ。「長年の実績と経験を活かした当社の高品質な物理セキュリティ製品と、上位システムの情報セキュリティとの連携で、セキュリティシステムの価値はより高まります。HULFTはその重要な橋渡し役です」と木下氏は語る。



物理／情報セキュリティのデータ連携基盤としてHULFTを共通化する流れが広がれば、セキュリティベンダーだけでなく、それを利用するお客様にとってもメリットが大きい。「IoTデバイスとの安全・確実なデータ連携を実現するHULFT IoTを提供するなど製品ラインナップも広がりを見せており、物理／情報セキュリティをつなぐパートナーとしてセゾン情報システムズには今後も大いに期待しています」(木下氏)。

セキュリティゲートの提供を通じ、日本で開催された国際会議の成功に貢献したクマヒラ。「この実績を活かし、提案の幅を広げ、新たなユーザーの獲得につなげたい」と話す木下氏。今後も同社は高品質な物理セキュリティ製品を提供するとともに、情報セキュリティを担う上位システムとの連携強化を促進し、トータルセキュリティ企業としてさらなる成長を目指す考えだ。

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

**HULFT** [お問合せ先]  
**株式会社 セゾン情報システムズ**  
HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620  
※利用時間 9:30~17:00(土・日・祝日および年末年始を除く)

**HULFT事業部**  
〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1  
サンシャイン60 21F  
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

**名古屋営業所**  
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19  
住友生命名古屋ビル 21F  
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

**HULFT Pte Ltd**  
80 Raffles Place, UOB Plaza 1, #35-07  
Singapore 048624  
TEL +65 6248 4625 FAX +65 6248 4501

**西日本営業部**  
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16  
肥後橋MIDビル4F  
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

**九州サテライトオフィス**  
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27  
九勤博多駅前ビル  
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

**HULFT, Inc.**  
1820 Gateway Drive,  
Suite 120 San Mateo, California 9440480

**世存信息技术(上海)有限公司**  
中国上海市长宁区天山西路1068号D栋3楼B单元  
TEL +86-21-6239-9201 FAX +86-21-6239-9321